

## 第 2 期岩出市子ども・子育て支援事業計画 策定に向けての課題

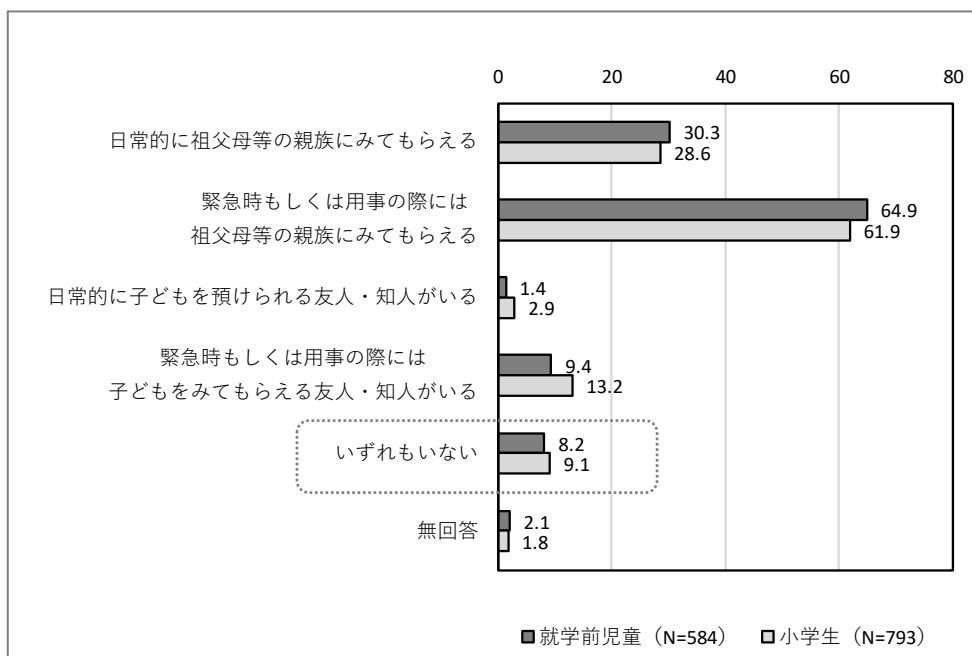
### 1. 待機児童の解消

- 例年、年度当初から保育所の待機児童が発生している。年度途中には、さらに保護者の復職などにより、入所希望が増加している。
- 待機児童発生の一因に保育士不足があり、保育士の確保が急務となっている。
- 放課後児童健全育成事業（学童保育）についても待機児童が発生しており、解消策が必要となっている。

### 2. 子育て世代の孤立化の防止

- 転入者の増加や都市化の進行で、地域とのつながりが薄い核家族が増加しており、地域社会で切れ目なく子育てを支える仕組みが必要。

#### 《参考データ／子どもをみてもらえる人がいるか》



「第 2 期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」(H31 年) より。  
日常的、または緊急時に子どもをみてもらえる人が「いない」と答えた人が就学前児童で 8.2%、小学生で 9.1%となっている。

### 3. 課題を抱える子どもや家庭への支援

- 貧困、児童虐待やDV、いじめなどの課題を抱える子どもや家庭への支援、増加傾向にある特別支援教育を必要とする子どもへの支援の充実が必要。

#### 《参考データ／ひとり親家庭の状況》

(岩出市)

	就学前児童		小学生	
	件数	割合	件数	割合
全体	584 件	100.0%	793 件	100.0%
母子家庭	44 件	7.5%	69 件	8.7%
父子家庭	1 件	0.2%	3 件	0.4%

「第2期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」(H31年)より。

ひとり親世帯の割合が、就学前児童で7.7%、小学生で9.1%となっている。特に母子家庭では、世帯収入が少なく、生活困窮に陥りやすい。

(全国)

	母子家庭	父子家庭
就業状況	80.6%	91.3%
うち正規の職員・従業員	39.4%	67.2%
うち自営業	2.6%	15.6%
うちパート・アルバイト等	47.4%	8.0%
平均年間収入(世帯の収入)	<b>291万円</b>	360万円

「全国母子世帯等調査」(H23年)より。

#### 《参考データ／県内地域別の所得段階と経済的困難》

(小学5年生)

	全体	所得段階Ⅰ		所得段階Ⅱ		所得段階Ⅲ		経済的困難世帯	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
岩出市	197	111	56.3	56	28.4	15	<b>7.6</b>	24	<b>12.2</b>
和歌山市	1,268	688	54.3	377	29.7	100	7.9	188	14.8
紀北	1,187	525	44.2	448	37.7	104	8.8	192	16.2
紀中	604	247	40.9	225	37.3	78	12.9	93	15.4
紀南	678	251	37.0	262	38.6	105	15.5	135	19.9
合計	3,772	1,724	45.7	1,326	35.2	392	10.4	616	16.3

(中学 2 年生)

	全体	所得段階Ⅰ		所得段階Ⅱ		所得段階Ⅲ		経済的困難世帯	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
岩出市	146	77	52.7	49	33.6	7	4.8	15	10.3
和歌山市	1,023	573	56.0	282	27.6	76	7.4	154	15.1
紀北	1,002	477	47.6	330	32.9	98	9.8	170	17.0
紀中	605	253	41.8	215	35.5	85	14.0	104	17.2
紀南	559	217	38.8	203	36.3	83	14.8	121	21.6
合計	3,224	1,540	47.8	1,041	32.3	344	10.7	552	17.1

「和歌山県子供の生活実態調査」(H30 年) より。

所得段階Ⅰ… 可処分所得の中央値以上の世帯

所得段階Ⅱ… 可処分所得の中央値の半分以上の世帯

所得段階Ⅲ… 可処分所得の中央値の半分未満の世帯 (相対的貧困層)

経済的困難世帯… 「生活必需品の購入が困難」「公共料金などの支払いが困難」「生活必需品の非所有」の 3 つのうち、いずれかの経験がある世帯

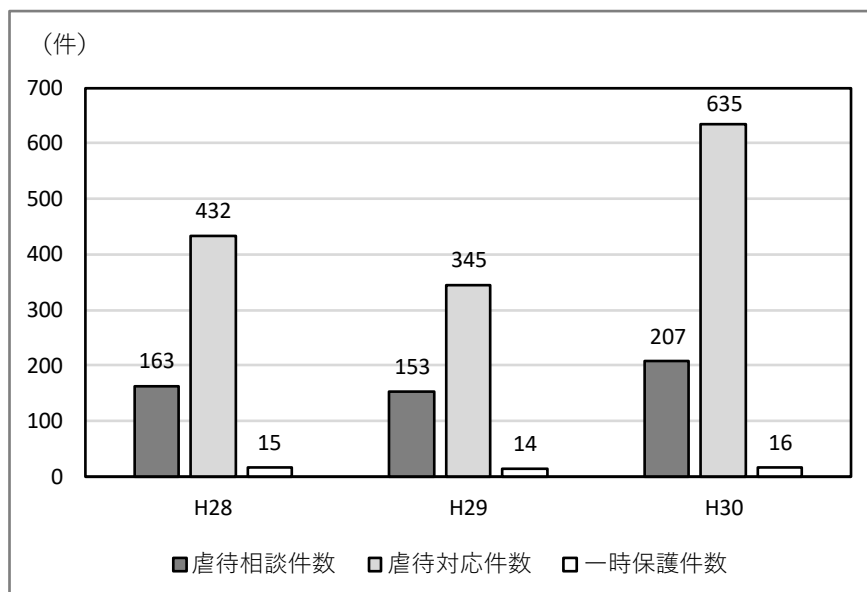
紀北… 海南市、橋本市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町

紀中… 有田市、御坊市、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、印南町、みなべ町、日高川町

紀南… 田辺市、新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町

岩出市の相対的貧困率 (所得段階Ⅲの世帯の割合) は、小学 5 年生、中学 2 年生のいる世帯とも、和歌山市や紀北、紀中、紀南の各地域に比べて、低くなっており、子どもの貧困問題が深刻とまでは言えないが、少数とはいえ相対的な貧困世帯が存在することから、該当する世帯への支援が重要。

《参考データ / 岩出市の児童虐待相談件数 (各年度末時点)》



## 《参考データ／相談内容の内訳》

	(件)		
	H28	H29	H30
虐待通告	102	73	104
その他養護相談	41	65	87
性格行動相談	2	0	0
不登校相談	7	11	1
育児・しつけ相談	11	2	11
障害相談	0	1	4
非行相談	0	1	0

## 《参考データ／虐待通告の種別内訳》

	(件)		
	H28	H29	H30
身体的虐待	34	22	33
性的虐待	0	0	0
心理的虐待	36	31	47
ネグレクト	32	20	24
計	102	73	104

虐待相談件数は平成 29 年度にいったん減少したものの、平成 30 年度は増加し、207 件となっている。虐待対応件数は平成 29 年度にいったん減少したものの、平成 30 年度は大きく増加し、635 件となっている。一時保護件数は各年度 15 件前後となっている。

表面化していない事案もあると考えられることから、虐待の防止・早期発見と、被害を受けた子供と加害者側の双方に対するケアが重要となっている。

#### 4. 保護者の就労状況に応じた教育・保育

- 母親の就労率は就学前児童で 68.0%※、小学生で 75.8%。勤労日数で最も多いのは、就学前児童、小学生とも「週 5 日」（就学前児童 63.3%、小学生 60.1%）となっており、「週 6 日以上」も就学前児童で 9.7%、小学生で 10.0%と少数ながら存在する。
- 母親の出勤時間は 7～8 時台、帰宅時間は 18～19 時台が最も多くなっている。
- 幼稚園・保育所とも、時間の延長や土曜日保育の実施など、保護者の就労状況に応じたサービスの充実が望まれる。

※数値はいずれも、「第 2 期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」（H31 年）より。

#### 5. 保護者のワーク・ライフ・バランスの推進

- 育児休業の取得率は母親で 64.7%※、父親で 3.4%となっており、特に父親の取得率が低位で推移している。
- 育児休業の取得などワーク・ライフ・バランスの推進について、就労者と事業者の双方に対し、働きかけが重要となっている。

※数値はいずれも、「第 2 期岩出市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」（H31 年）より。

## 6. 新学習指導要領の全面实施に向けた体制の整備

- 新学習要領の全面实施（幼稚園は2019年4月から実施済み、小学校は2020年4月、中学校は2021年4月から全面实施）に向け、教職員への周知の徹底が必要。
- プログラミング教育や外国語教育などを支える人材の確保が必要。

## 7. 保護者の「育てる力」の養成

- 全国的に、子育てに無関心な保護者や、SNSやゲーム依存で子育て放棄状態にある保護者などが増えていることから、親に対する「子どもを育てる力」の育成・養成が重要。

## 8. 岩出市子育て世代包括支援センター（ぎゅっとふるいわで）の周知と体制の整備

- 開設間もない「ぎゅっとふるいわで」（平成31年4月開設）の周知と、子育て世代包括支援センターとしての機能・体制のいっそうの整備。